

打出のごぶち



打出きよふみ事務所

〒920-0942 金沢市小立野3丁目23-27 近藤ハイツ1階
TEL 076-260-1655 / FAX 076-209-6715 Eメール: info@uchidekiyofumi.com

県議会一般質問

9月20日の県議会一般質問において、令和6年能登半島地震後の復旧・復興の状況について発言しました。

また、石川県立図書館と兼六園周辺文化の森、小立野寺院群と連携した観光ルートの開発を提言しました。



県議会一般質問で発言する

能登地域からの子どもの減少

Q1 能登6市町の保育所及びこども園在園者数、小中高の児童生徒数について問う。

A. 次のとおり。

	R5年度	R6年度	増減
保育所・こども園	2,621人*	2,336人*	-285人
小学校	4,322人**	3,607人**	-715人
中学校	2,419人**	2,191人**	-228人
高等学校	2,201人**	2,094人**	-107人

*4月1日時点の人数 **5月1日時点の人数

Q2 被災地から子どもたちが転出している原因をどのように分析しているのか問う。

A. 6市町に確認したところ、震災で住まいや仕事などを失った子育て世代が転出しているとのことである。また、保育施設等の休所、子どもたちが避難先での就学になじんだことなども原因として挙げている。

Q3 震災前のような学校生活を送れるようになるのはいつなのか。被災地の子どもたちと保護者が安心して故郷で生活するために、できるだけ早く目標時期を示すべきではないか。

A. 1日でも早く震災前の状態に戻すようしっかりと取り組むとともに、調査の進捗状況を丁寧に説明するなど、可能な限り情報共有に努めたい。

建設型仮設住宅における高齢者の安全対策

Q1 建設型仮設住宅における高齢入居者の割合をどのように捉えているのか。

A. 仮設住宅入居者のうち70代以上が46%であり、半数近くは高齢者であると考えられる。

Q2 建設型仮設住宅全体の何割程度に緊急通報システムが設置できる見込みなのか。

A. 設置希望世帯を把握し、緊急通報装置を必要とする全ての世帯に設置されるよう市町と連携して取り組みたい。

Q3 建設型仮設住宅の携帯電話不感対策、テレビ難視聴対策、冬季の除排雪対策は万全なのか。

A. 市町や関係機関と連携し携帯電話やテレビを含め仮設住宅の生活環境が改善されるよう努める。また、除排雪についても、市町からの要望を踏まえて経費の支援を行う。



復旧・復興に携わる行政職員の現状

Q1 今年の1月から8月までの県職員と能登6市町職員の早期退職者数を問う。

A. 早期退職者数は県職員の知事部局で109人、能登6市町職員で143人である。

Q2 自治労石川県本部が能登地域の職員に対しアンケート調査を行った結果、4割が直接カスタマーハラスメント(カスハラ)を受け、9割以上がカスハラは復興の妨げになると回答している。知事から県民に向けてカスハラをしないようメッセージを発信してはどうか。

A. 過剰な要求等により、残念ながら出勤できなくなった職員がいると報告を受けている。県民の皆さまには配慮をお願いしたい。

能登の創造的復興

Q1 医療技術をはじめ、農林水産業、交通、防災等、第五世代移動通信システム(5G)の利用が進められている。能登では5Gアンテナ基地局が少なく、能登の創造的復興を達成するために、携帯電話事業者に基地局の増設を強く働きかけてはどうか。

A. デジタルを生かした能登の未来を描くには、現状の劣悪ともいえる通信環境の抜本的改善が必要。道路と並ぶ重要インフラとして安定した通信環境を事業者や国に求めていきたい。

Q2 創造的復興のために、子どもたちの声や視点が大切と考える。子ども向け創造的復興プランの小冊子を作成し、小・中学校に配付してはどうか。

A. 知事と能登の子どもたちとの意見交換を年度内に実施したい。また、子ども向けの復興プランについては、小冊子という形以外にも、動画など学校現場で活用しやすいものを検討する。

お住まいの地域で困ったことはありませんか？

地域でお困りのこと、お気軽にご連絡ください！

受付フォームはこちら ▶



賃上げ、価格転嫁対策

Q1 県が実施している賃上げできる環境整備、支援策の拡充、価格転嫁対策は他県と比べて遜色ないか。

A. 本県では補助金、融資、伴走支援など幅広い支援策を講じ、他県と遜色のない支援内容になっている。

Q2 価格転嫁推進のため、大企業と中小企業の共存共栄を目指した「パートナーシップ構築宣言」への登録を各企業に働きかけるとともに、あわせてインセンティブの強化を検討してはどうか。

A. 経済団体と連携しパートナーシップ構築宣言の登録の働きかけ、石川県産業創出支援機構の価格転嫁サポートの一層の周知につとめ、インセンティブの強化も検討したい。

県立図書館のさらなる利用促進について

Q1 県立図書館と兼六園周辺文化の森、小立野寺院群と連携した観光ルートを開発してはどうか。

A. 打出議員指摘の周遊ルートの形成に向けて、関係者とともに検討を進めたい。

県議会一般質問の録画映像をこちらで視聴することが可能です。ぜひご覧ください。



[解決事例]

小立野－旭町間の遊歩道

地元小立野にお住まいの方から、「県道209号の整備によって、県立図書館と旭町を繋ぐ遊歩道が相当な段数の階段に付け替えられる。夜間や積雪時にも、高齢者や子どもが安全に利用できるよう配慮できないか」との声をいただきました。県の計画では、片側の手すりのみの設置でしたが、住民の声を届けたところ、両側の手すりや街灯が設置されました。ご対応いただいた県央土木総合事務所の皆さま、ありがとうございました。ぜひ皆さまのいろいろな声をお聞かせください。

